



8/17

世界との出会いが、未来を変える

2025年度TOFUプログラム 参加者報告会



2026年3月18日～25日に行われた外務省主催の2025年度TOFUプログラム(※)へ参加した宜野湾市出身の3名による参加者報告会が行われました。参加者3名からプログラムを通して学んだことやアクションプランの実施についてプレゼンテーションが行われ、その後、紀谷外務省特命全権大使(沖縄担当)や佐喜眞市長、伊波教育長から講評を行いました。

※沖縄の将来を担う学生を米国に派遣し国際社会で活躍する沖縄の人材育成を図る「アメリカで沖縄の未来を考える」(TOFU:Think of Okinawa's Future in the United States)プログラム

8/19

まちの発展につなげていけるように

令和8年度 市優良建設業者等表彰式



令和7年度に完成した建設工事において、優れた施工技術を発揮し、本市の住みよいまちづくりに貢献した建設業者を表彰するものです。今年度は、土木部門、管部門、建設工事関連部門から3社が選ばれました。また、今年度から新たに「優良工事技術者表彰」を創設し、各部門から3名の工事技術者を表彰しました。受賞者を代表して、株式会社新洋建設工業の宮城調友さんがあいさつし、安全を第一に考えながら品質管理や周辺環境への配慮に努め、関係者の皆さまの協力によって無事故・無災害で工事を完成できたことへの感謝を述べました。

8/19

気持ちよく使える道づくりをいっしょに

令和8年度「道路ふれあい月間」道路清掃活動



「道路ふれあい月間」の取り組みの一環として、宜野湾市真志喜地内で道路清掃活動を実施しました。当日は、宜野湾市職員をはじめ、市内の各団体から約222名の皆さんにご参加いただき、道路周辺の草刈りやごみ拾いなどに取り組みました。当日は厳しい暑さとなったため、無理をせず、体調を最優先に活動していただくよう呼びかけながら作業を行いました。今回の活動を通して、地域の皆さんと行政が協力して道路環境を守ることの大切さを改めて感じる機会となりました。

8/14

身近な環境問題について考えよう！

令和8年度夏休み子ども環境学習会



環境問題についての理解を深め、身近な環境保全活動への取り組みを促すことを目的として、市内在住の小学生と嘉数高台公園や比屋良川公園、浦添大公園を散策しながら、動植物や河川を見学しました。講師の説明や水質実験をとおして、身の回りの環境を汚さないためにできることをみんなで考えました。

8/4

地域のつながりで、暮らしの「困った」を支援

暮らしの困りごとをリユースで支援



宜野湾市とおきゆい合同会社は、「リユース家電の提供に関する連携協定」を締結しました。本協定は、生活に困窮し、冷蔵庫や洗濯機などの家電の確保が難しい世帯にリユース家電を提供し、生活の安定と自立を支援するものです。おきゆい合同会社の玉城豊シニアアドバイザーは、「お困りごとに対する最初の一步が、このリユースではないかと思っています」、コスモス・ベリーズ株式会社の牧野達代表取締役社長は、「地域に根差した事業者がネットワークをつくり、地域の生活者の困りごとを解決していくことが私たちの取り組みです」と述べました。

8/5

地域の未来を見据え、課題解決に向けて前進

市議会の政策提言に市が回答



市議会からの政策等提言に対する回答書手交式が行われました。今回の提言は、「大山の通称『あそび場』の存続に向けた県有地の無償借用及び「軽便鉄道跡地」としての環境整備」と「空家等対策条例の制定」についてです。市からは、県有地の無償貸付に関する確認結果や、条例制定に向けた調査・研究を進める方針が示されました。また、地域の歴史継承や空家対策について活発な意見が交わされました。

8/13

リスクを早期に見つけ、健康な毎日へつなぐ

一人ひとりに合わせた健康支援を目指して



宜野湾市とサステインハピネス株式会社は、「CKD ハイリスク層を起点とした末期腎不全と脳心血管病の予防モデル事業に関する連携協定」を締結しました。今回の連携では、特定健診などのデータを活用して、将来的に透析へ移行するリスクが高い方を早期に把握します。その上で、デジタルツールによるデータ分析を活用し、一人ひとりの状態に応じた保健指導や栄養指導につなげることで、生活習慣の改善や適切な医療機関の受診を促します。



7/30

野球の楽しさ、子どもへ届ける第一歩

横浜DeNA ベイスターズ「ベースボール型授業」指導者講習会



横浜DeNAベイスターズを招いての「『ベースボール型授業』指導者講習会」が7/30(木)に宜野湾海浜公園ユニオンですからドーム宜野湾にて開催され、市内小学校教諭の皆さんが参加しました。参加した先生の皆さんからは「楽しく学ぶ授業づくりの大切さを改めて感じた」「自分自身野球に触れたことがなかったため、指導方法に不安があったが、わかりやすく基本動作を学ぶことができた」などの声が聞かれました。

7/31

中学生のアイデアが学校を変える！

中学生スクールサミット 開催



宜野湾市中央公民館にて「第27回宜野湾市中学生スクールサミット」が開催されました。各校からは、あいさつ運動や清掃活動、学校行事の企画、学年を超えた交流、地域でのボランティア活動など、それぞれの特色を生かした取り組みが紹介されました。意見交換では、「生徒一人一人の個性を大切に、学校を盛り上げるには?」をテーマに、学校の垣根を越えて活発に意見を交わしました。互いの発表からヒントを得ながら、「自分たちの学校でも取り入れてみたい」といった声も聞かれました。

8/3

感謝を胸に、勝利を掴む

全国高等学校将棋竜王戦 出場報告



「第39回全国高等学校将棋竜王戦」への派遣が決定した県立開邦高等学校2年の本村凛さんが、佐喜眞市長を表敬訪問しました。本村さんは、5月10日に開催された県大会で強豪を相手に勝ち進み、県代表の座を獲得しました。本村さんは「優勝できたのは、先生や家族、学校の顧問の先生、応援してくれた皆さんのおかげです。全国大会でも良い結果を出せるよう頑張ります」と意気込みを語りました。